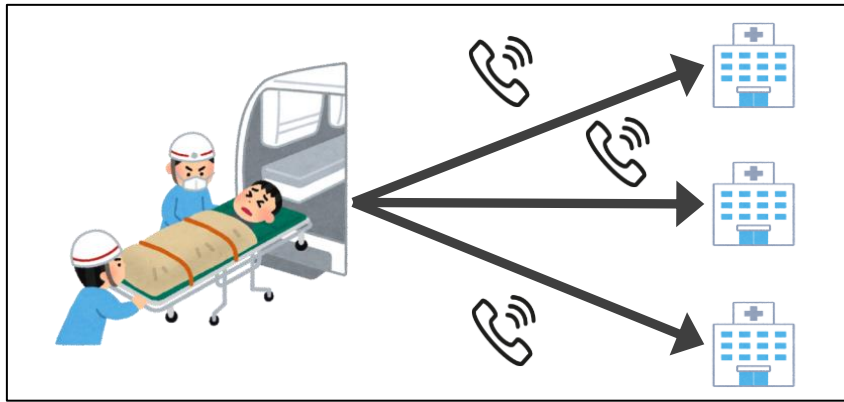


救急医療「見える化」システムの導入について②

【導入の効果①】

従来の救急搬送

- 救急隊が当番の医療機関等に1件1件電話連絡し、救急患者の状態などを説明

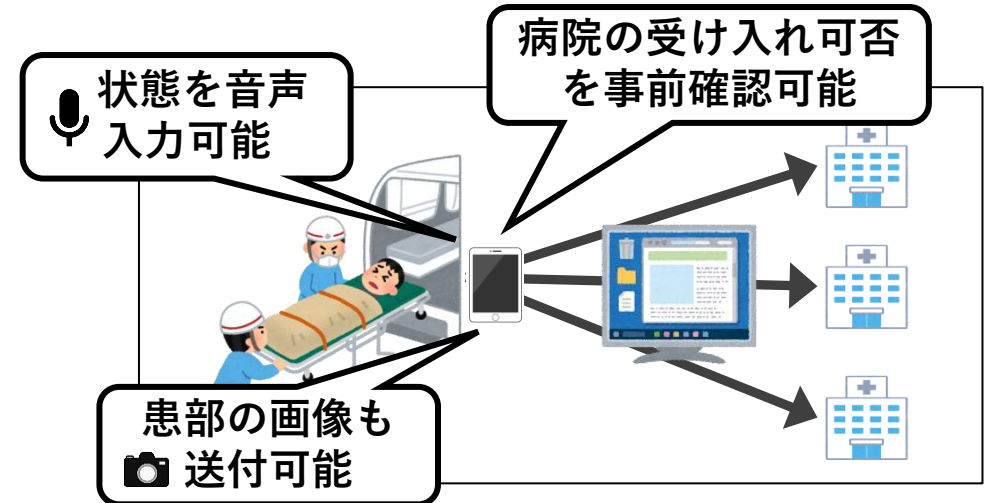


- 医療機関の受け入れ可否状況を事前に把握不可

搬送先の決定に時間を要す場合あり

導入後の救急搬送

- 救急患者の状態をデータで送信
→ 一目で患者の状態を把握



- 受け入れ可否状況が把握可能
→ 医療機関選定時間を短縮

搬送先を迅速に決定できる